

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム さらさの家

目標達成計画

作成日: 平成22年7月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	基本理念である「こちよく ゆったりと あなたらしく」の「あなたらしく」の支援が不十分である	一人ひとりの人格を尊重しケアする	・一人ひとりの生活歴や性格、人生観などを知る。家族や本人から話を聴き、職員は情報を共有する ・誇りやプライバシーを損ねない声かけをする ・入居者から「教えていただく」ともに行き渡す	12ヶ月
2	33	入所時から、最期までみて欲しいと希望されている家族もいらっしゃるが、重度化や終末期に向けた具体的な話し合いや方針を立てていない	重度化や終末期に向けた方針を立て、家族や医療関係者を含めて話し合いをする	・当施設での重度化や終末期に向けて方針を立てる ・職員、家族、医療関係者などで話し合いの場を持つ ・研修に参加する	6ヶ月
3	40	食事中にあまり会話がな	楽しく食事ができるよう支援する	・どのようにしたら、楽しい雰囲気ですりできるかを職員で話し合う ・入居者と職員が食事をともにする	6ヶ月
4	35	災害対策の体制の確立	・備蓄の確保 ・避難場所の確定 ・地区の消防団との連携、避難訓練の開催	・備蓄として必要なもの(水や食糧)などの準備 ・避難場所の交渉、依頼 ・地区の消防団に連絡をとり、協力体制の依頼、合同避難訓練を行う	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。